



鹿間町防災訓練に幼児から高齢者まで参加のみなさん 鹿間町構造改善センター広場



ヘリで傷病者と物資を空輸

小山田地区防災連絡協議会 会長 萩 伸元

小山田は緑豊かな自然環境に恵まれた地区です。しかし一方災害が発生しやすい自然条件下にあります。「地震防災対策推進地域」にも指定されています。今世紀前半には、東海地震や東南海地震が起きる、と確実視されています。まさしく、防災対策は、何よりも最優先して取り組まなければなりません。

町ごとに組織されている「自主防災隊」が、その時、力を発揮します。防災の鉄則は、自分の命は自分で守る「自助」と、隣近所がお互いに助け合う「共助」が大切な「鍵」といわれます。みなさんの参加によって訓練の積み重ねが、基礎を作り、知識と理解を深めていくことで被害を最小限にします。

緊急時、道路が通れない時、傷病者や生活物資の搬送をヘリコプターで空路輸送します。離着陸のヘリポートは、西陵中の運動場を使うことになっています。

防災啓発には、今年もみなさんのご協力で、りっぱな「防災標語」が寄せられ、一枚のカレンダーにして全戸配布しました。カレンダーは各家庭で年中、標語を発信しつつ、陰の意識啓発と共に、災害のないことを祈りながら毎日見守っています。これからも、明るく、住みよい小山田にするため、温かいご支援と、力強いご協力をお願いします。

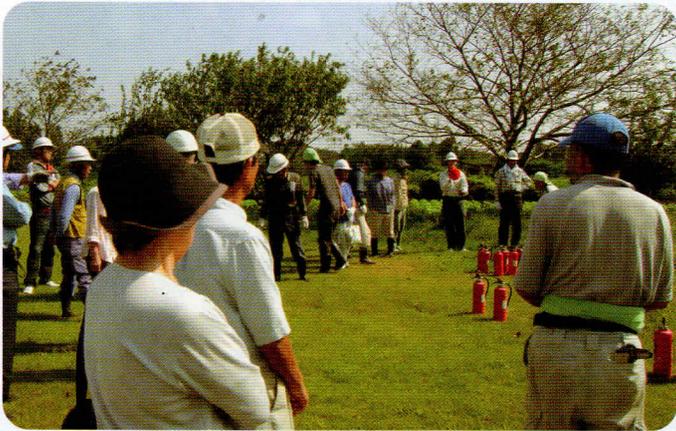


私たちのまち

美里町

平成21年10月3日

消火器による初期消火訓練や貯水槽から取水し、放水訓練を行った。古くなった消火器の危険性や取り扱いの注意がされ、日頃からの防災・防火への備えをよびかけた。



西山町

平成21年10月4日

町内5組でそれぞれ、消火栓ボックス内の説明、ホースの取り扱い方、消火栓からの放水訓練、消火器の使用方の説明などの訓練を行った。5箇所での同時訓練により、多くの住民の参加につながった。



らの防災訓練



内山町

平成21年10月4日

消火栓ボックス内の器具の取り扱い方の説明、消火栓からの放水訓練、てんぷらなべ火災の初期消火の訓練が行われた。内山町の訓練は3回目となり、防災を啓発、防災意識向上や地域住民の協力体制強化になっている。



山田町

平成21年10月11日

災害避難者確認、4グループに分かれ、てんぷら火災対応、消火器の取り扱い、消火栓ボックス内の器具や消火栓の説明と放水訓練、救急救命・AEDの講習を実施。長年放置の消火器の危険性、耐用年数は8年位で（設置場所などで差がある）、腐食して爆発すると垂直に30mくらい飛ぶなどの説明が行われた。





私たちのまち

小山町

平成21年11月15日

情報伝達、消火栓・貯水槽からの放水訓練、防災倉庫内の用具の点検、炊き出し、防災ビデオで防災・防火の啓発、軽量移動式ポンプの試運転などが実施された。



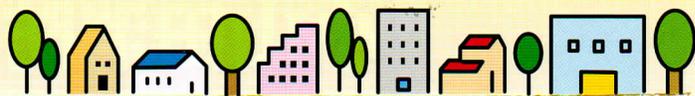
堂ヶ山町

平成21年11月22日

移動式ポンプ車の点検、防火水槽からの放水訓練、消火器による初期消火訓練、町内各所の消火栓ボックスなどの点検が行われた。



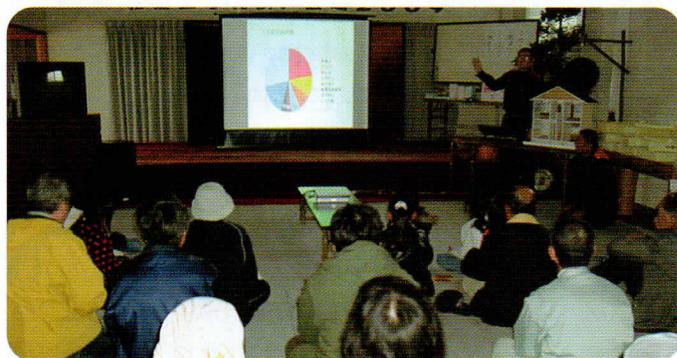
らの防災訓練



和無田町

平成21年11月29日

出前講座「住宅防火 火災から家族を守る」を消防の川上氏を講師に迎え開催、その後てんぷら火災の初期消火訓練、消火栓からの放水訓練、AEDの取り扱い方の講習会を実施。和無田町では毎月2回のポンプ車点検が行われている。



六名町

平成22年1月10日

情報伝達、避難、消火器を使った初期消火、煙体験・脱出訓練、消火栓からの放水消火を光輪寺など3箇所で行った。ホースの届く範囲の確認や器具の点検などを実施。

地域防災の意識向上と協力体制の強化のため多くの住民が参加し、訓練が行われた。



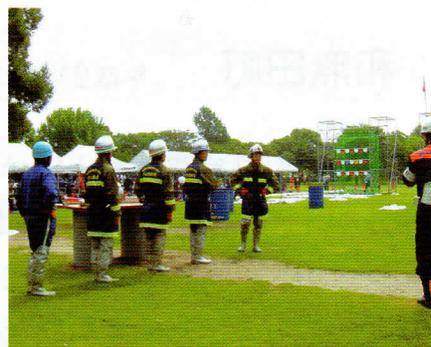
小山田消防分団の活動

自分達の町は自分たちで守る消防団は、災害時には消火や救助活動などを行い、平常時には災害予防・啓発活動や消火・防災訓練指導などを担い、地域の安全確保に努めています。

小山田消防分団は、現在「分団長：伊藤忠夫」以下22名の団員で活動しています。

昨年冬季、小山田地区では毎月のように家屋火災が発生し異常事態でした。残念なことに犠牲者も3名でています。

これを教訓に小山田消防分団は、火災発生の予防、災害の備えや日頃からの地域とのコミュニケーションを目標に、更なる活動のレベルアップを目指します。



1. 消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

火災では、昼夜の区別なく携帯電話・メール(サイレンを鳴らす時もある)で召集され、消防車で出動し、消防署と協力して消火活動にあたります。

因みに、近年の出動回数はグラフのようになっています。

昨年冬季の小山田地区は、家屋火災が連続発生し、犠牲者3名がでる異常事態でした。

六名町と鹿間町の火災では、小山田分団車は公設消防車より速く1番に駆けつけ消火にあたりましたが、残念ながら全焼となってしまいました。

また、秋には小山町で放火と思われる産業廃棄物火災が連続し、連夜警戒パトロールを続けた結果、その後鎮静しました。



- ① 2008年11月10日 内山町(死者1名)
- ② 2009年 1月26日 山田町
- ③ 2009年 3月 1日 六名町(死者1名)
- ④ 2009年 3月30日 小山町
- ⑤ 2009年 5月 6日 鹿間町(死者1名)

(2) 地震、集中豪雨などの災害時の住民の救助活動

小山田地区は災害が少なく、2009年は10月7日夜の台風18号の警戒1度で済みました。

(3) 消火防災訓練

消防車のポンプ点検・無線テストを毎月定期的に2回実施しています。毎年真夏に行われる消防操作競技大会(2009年は7月19日)へ向けて、実践しながら一生懸命繰り返し練習を行いました。大会はわずかの差で入賞を逃し残念でした。



小山田分団表彰者



消防庁長官表彰 永年勤続功労章
 三重県消防協会長表彰 精勤章
 三重県消防協会北勢支会長表彰 表彰徽章
 ”
 ”
 四日市市長表彰 消防団功労者表彰
 四日市市長感謝状 消防団退職者感謝状

米川 矩夫さん
 伊藤 友二さん
 古市 隆志さん
 中村 哲也さん
 矢田 博之さん
 伊藤 文夫さん
 森田 浩伸さん

(4) 消火栓の点検

2009年も1年間をかけて、小山田地区内の全消火栓、防火用水の点検を行いました。全て異常はありませんでした。

(5) 初期消火、応急手当などの住民指導

2007年度から、地区全体の防災訓練から、町別自主防災訓練に移行しました。

2009年度も小山田地区全9町で実施され、次の7地区で指導をおこないました。参加された皆様ご苦労さまでした。あつてはならない事ですが、万一火災が発生した時は、消防車が到着するまでの初期消火活動に期待しています。

10月 4日:西山町	11月22日:堂ヶ山町
10月 4日:内山町	11月29日:和無田町
10月11日:山田町	1月10日:六名町
11月15日:小山町	

(6) 火災予防・啓発活動

春・秋の火災予防週間には、法律で義務化された「住宅用火災警報器」の取り付けをお願いしました。

残念ながら、まだまだ設置の割合は低いように見受けられます。「住宅用火災警報器」は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。

まだ設置していない家庭では早急に設置をお願いします。

住宅用火災警報器は、3,000円前後の手頃な価格となっています。

住宅用火災警報器

煙を検出する
警報器(光電式)

熱を検出する
警報器(定温式)



ピイピイ! ピイピイ! 火事です! 火事です!

2. 消防団の一団化

四日市市と楠町の合併以後も別々の組織であった消防団が平成22年4月1日から一団化されます。再編に当たって、団員数などの見直しと新たに機能別団員が採用されます。

機能別団員とは、個人の能力や時間の許す範囲などで、特定の活動のみに参加する消防団員で、次のいずれかの活動を行います。

- ①災害活動
- ②予防広報活動
- ③訓練指導活動
- ④大規模災害活動

3. 消防団員の募集

昨年、「防災おやまだ 第5号」で、女性消防分団員の募集を始めました。期待していましたが、残念ながら1人の応募もありませんでした。

小山田地区在住、または勤務している18歳以上で健康な方であれば入団できますので、ぜひ応募してください。

元気のある方の入団を待っています!!

男性・女性
ともに

・消防団員
・機能別団員

自分達の町を、自分達の手で
一緒に守りましょう!

避難所運営の研修会を実施しました

大規模かつ突発的な災害に際して、避難所の円滑な開設・運営が必要です。

小山田地区防災連絡協議会は協議会メンバーや地域の代表の方々と共に、11月21日(土)小山田地区市民センターにて、みえ防災コーディネーターの方を講師に避難所運営についての研修会を実施しました。

地震発生から3時間、4時間、6時間、7時間経過時の様々な課題について問題点を抽出し、意見交換をしました。



避難所の仕事



災害につよいまちづくりへ向けて、地域住民同士の協力体制づくり、危険箇所の点検、家屋の耐震化、家具などの固定など防災・減災に取り組みましょう。